

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2020年12月25日

日立ITユーザ会第57回大会論文で、
当社従業員が優秀賞などを受賞しました。

日立ITユーザ会(*)主催の第57回大会論文で、当社従業員が執筆した論文が優秀賞などを受賞しました。

■ 一般論文の部【優良賞】

- システム資源とプロセスの一元管理・可視化によるシステム開発力の強化
・ 伊藤智職員、堀口聡志職員、砂川大輔職員
(テクニカルサポート二部(執筆時所属、以下同様))

■ 小論文の部【優良賞】

- カメラを活用した保険申込書類受領方法の簡素化
・ 清水千翔職員、佐治昌哉職員
(テクニカルサポート二部)

■ 若手チャレンジ(30歳未満を対象)論文の部【優秀賞】

- 営業支援モバイルアプリにおけるアジャイル開発の試行取り組み
～スピーディかつ柔軟なユーザシステム提供を目指して～
・ 井畑淳実職員
(事業五部)

■ 若手チャレンジ(30歳未満を対象)論文の部【優良賞】

- 営業支援端末における被保険者告知確認の強化
・ 笠松祐希職員
(事業三部)

■ 受賞者のコメント

- ・ 本論文は、システム開発におけるシステム資源の管理・調査や案件管理に多くの時間を割いているという課題を取り上げ、改善に向けた取り組みについて執筆いたしました。新たなクラウドサービスの導入など苦労する点は多々ありましたが、実現に向けたプロジェクトメンバーの努力が伝わり、論文が評価されたことをうれしく思います。(伊藤智職員)
- ・ 本論文は、DA端末に搭載されるカメラを利用した帳票読み取り機能の開発における課題や問題点を取り上げ、解決策や工夫点について執筆いたしました。帳票イメージの品質向上のため、チューニングを繰り返し、ハンディスキャナと比較しても遜色ない品質を実現できました。実現に向けた開発メンバーの努力が伝わり、論文が評価されたことをうれしく思います。(清水千翔職員)
- ・ 本論文は、当社が新たに取り組んでいるアジャイル開発をテーマに執筆しました。概念的なテーマに対し、どのような文章構成にしたらよいか悩み、試行錯誤を繰り返しました。多くの方にアドバイスをいただき、「当社らしさ」が伝わるような論文になるよう工夫しました。その点が評価され、達成感がありました。(井畑淳実職員)
- ・ 本論文では、営業支援端末の被保険者告知確認に関するテーマについて執筆しました。論文執筆を通して、誰が見ても分かる文章構成にする点において苦労しましたが、論文および取り組み内容を社外の方から評価され嬉しく思い、今後の業務に向けての自信ができました。また、日々の業務においても誰に何を伝えたいのかをより意識するようになったため、今回の大会論文に参加できて良かったです。(笠松祐希職員)

(*)1964年5月に発足した日立グループのITサービスを利用するユーザによって組織・運営されている団体。
大手金融機関をはじめ、各種企業・学校・公共団体など全国で約1,100が参加。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101